

新編 西尾市史 資料編5 近現代

2025年
4月24日
頒布開始

A5判 830頁 上製本 口絵カラー／本文モノクロ 4,000円 付録 本文収録CD-ROMと「愛知県幡豆郡全図」「碧海郡全図」複製(B2判)
※購入方法は裏面をご覧ください。

激動の近現代 その時西尾の人々は…

『新編西尾市史 資料編5 近現代』は、1871(明治4)年の廃藩置県から、西尾市・一色町・吉良町・幡豆町が合併し、現在の西尾市となった2011(平成23)年までの約140年間を対象とし、その間の史料439点を収載したものです。

そのあいだには、人びとの生活に大きな影響をあたえる戦争や恐慌がありました。災害もありました。また西尾市域を含む地方社会は、中央集権という新しい体制のもとで不利な状況に置かれてきました。それにもかかわらず、市域の町や村は、伝統を大切にしつつも、産業や文化・教育を徐々に近代化し、発展させてきました。

この巻に収められている史料には、一市三町の前身にあたる各町村の行政文書や学校関係の史料、新聞・雑誌、個人の日記、書簡等さまざまなものが含まれています。また、絵葉書をはじめとする多くの口絵を載せました。一部の有力者・為政者だけの動きではなく、女性の立場やマイノリティの存在にも目配りしつつ、庶民のあり方・生き方をうかがうことのできる史料を集めたのが大きな特徴です。

この巻が扱った時代は、現代に直接つながる時代であり、その一部を体験してきた方々も多いはずです。その意味では親しみを感じながら読んでいただけるものと思っています。ぜひご味読ください。

近現代部会 編集委員 宇佐見正史・岡田洋司



※書籍写真はイメージです(表紙写真は「西尾町鳥瞰図」1953年)

※図版右上から、牧野善次郎「牧野日記」、愛知電気鉄道西尾駅、三州幡豆郡津平村絵図面

『新編西尾市史』は、2011年4月の1市3町(西尾市・一色町・吉良町・幡豆町)の合併によって誕生した新しい西尾市の姿を、歴史・文化・自然・美術・民俗などのさまざまな視点から明らかにするものです。

頒布中の既刊

『新編西尾市史 資料編1 考古』 A4判 オールカラー790頁 5,000円

『新編西尾市史 資料編3 近世1』 A5判 口絵カラー10頁 本文モノクロ790頁 4,000円

『新編西尾市史 資料編4 近世2』 A5判 口絵カラー20頁 本文モノクロ758頁 4,000円

『新編西尾市史 別編1 美術工芸・建造物』 A4判 オールカラー643頁 5,000円

『新編西尾市史 別編2 自然1』 A4判 オールカラー655頁 5,000円

『資料編2 古代・中世』、
『通史編1 原始・古代・中世』
は完売しました。

